



福井県社会福祉協議会 アクションレポート

令和4年8月25日 No.7

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 総務企画課
〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22
TEL 0776-24-2339 / FAX 0776-24-8941 / E-mail somu@f-shakyo.or.jp

このアクションレポートは、本会の主な事業等の進捗を定期的にお知らせするために、役員および関係機関向けに発行させていただくものです。

Contents

- ✓ 一刻も早く生活を取り戻すために～8月大雨被害支援
- ✓ タイ人技能実習生の介護現場実習開始
- ✓ ラジオ講座「いきいきライフ」リニューアル！
- ✓ 職員の学びをアシスト「研修受講サポートシステム」
- ✓ 4年ぶり嶺南会場～福祉職員キャリアパス対応生涯研修
- ✓ ふくい福祉就職フェア（福祉の職場説明・面談会）開催
- ✓ はじめの一步～ボランティア体験2022
- ✓ 法人連携協「地域貢献セミナー」開催！
- ✓ 子ども未来支援事業、福井県まごころ基金助成先決定！

一刻も早く生活を取り戻すために～8月大雨被害支援

基本目標1
社会的孤立を生まない
地域づくり

基本目標3
制度の狭間を生まない
包括的支援体制づくり

5つのチャレンジ⑤
災害時福祉救援体制の
強化

関連するSDGsゴール



8月4日、5日の大雨により、勝山市、南越前町では河川の氾濫や土砂崩れ、浸水が相次ぎ、大きな被害を受けました。勝山市・南越前町社会福祉協議会は、災害ボランティアセンターを開設し、多くのボランティアが日々民家の泥のかき出しやがれきの撤去作業等にあたっています。

勝山市ではボランティアを市民、南越前町ではワクチン3回接種済等の県民に限るなど、この7～8月に再急増している新型コロナウイルス感染拡大防止にも配慮しながらの対応となっています。（勝山市災害ボランティアセンターは8月11日に閉所し、以後は地域支え合いセンターとして活動。）

市町社協および本会から「災害時における社協ネットワークによる相互支援協定」に基づき、両災害ボランティアセンターに職員を派遣し、県内社協等が連携し、円滑なセンター運営に向け尽力しています。



南越前町災害ボランティアセンター

タイ人技能実習生の介護現場実習開始

4月に来福したタイ人技能実習生（第1期生）6名の介護実習が5月から県内3施設で行われています。

3か月が経過し、実習生は福井での生活に慣れたものの、利用者や職員との日本語によるコミュニケーションや介護業務に関する新たな知識・技術の修得、さらには帰宅後の日本語学習に勤しんでいる様子がうかがえます。

それぞれの実習生が自分の持ち味を活かしながら真摯に介護実習に取り組む姿が利用者からも好評で、日本人職員への好影響も感じられるという声も寄せられています。

実習施設では、コロナ禍で通常業務が困難な中であっても外国人の実習指導に尽力されており、監理団体である本会としてもきめ細かい情報を共有しながら、試行錯誤の日々が続いています。

今回の第1期生受入れに係る蓄積が、第2期生以降の円滑な技能実習に活かせるよう取組んで参ります。



食事介助の様子

基本目標 2

地域と福祉を支える
担い手づくり

5つのチャレンジ③

福祉・介護で働く在日外国人への支援

関連する SDGs ゴール



ラジオ講座「いきいきライフ」リニューアル!

本会では、中高年の県民の皆様が健康で自分らしい生き方を実現できるように、多様なジャンルについて幅広く学習できるラジオ講座を平成元年度から実施しています。

最近では、スマートフォンやパソコンを使ってラジオを聞く人も増えてきたことから、令和4年度からは、名称を「いきいきセミナー」から「いきいきライフ」にリニューアルし、テキストのWEB配信や受講者参加型の企画を予定しています。

今後も、さまざまなジャンルの話題でより多くの方に学びの機会を提供していきます。

- 学び強化月間（年4回：5月、9月、10月、1月）
5月は、学び強化月間として「人生100年時代 自分らしいこれからの生き方をさがそう」を共通テーマにお送りしました。
- 放送もテキストもインターネットで配信し、より気軽に聴取できるようになりました。詳しくは、県社協ホームページをご覧ください。
- 月に1回、講座番組内でボランティア活動者に登場してもらい、シニアの「いきいきライフ」の実例を紹介しています。
- 下半期には、「いきいき」を題材とした川柳を募集し、ラジオ講座で優秀作品を発表する「川柳コンテスト」を実施します。
WEBからの申込みも受け付けます。



基本目標 1

社会的孤立を生まない
地域づくり

関連する SDGs ゴール



職員の学びをアシスト「研修受講サポートシステム」

本会研修事業の申込、受講者の変更や取消がウェブ上でできる「研修受講サポート」システムを導入し、昨年度の試行を経て、今年度から本格的に稼働しています。

導入にあたり、県内福祉事業所の意向を事前に調査したところ、「システムを活用したい」63%、「どちらでもよい」32%との回答をいただきました（回答 211 事業所）。

基本目標 2
地域と福祉を支える
担い手づくり

関連する SDGs ゴール



当システムでは、各研修の申込み状況が一目でわかり、受講申込・取消・変更手続きも随時可能で、各事業所における職員の受講履歴（今年度以降）も確認できます。

今後もより多くの福祉事業所による当システム活用が進むよう努めてまいります。



福井県社会福祉協議会ホームページ
<https://www.f-shakyo.or.jp/>

4年ぶり嶺南会場～福祉職員キャリアパス対応生涯研修

コロナ禍でオンライン研修が多くなる中、4～7月にかけて「初任者コース」は5年ぶり、「中堅職員コース」は4年ぶりに嶺南会場で開催しました。1日目、2日目は丹南会場との合同オンライン、3日目が集合型です。

ここ最近では嶺南の申込者が少なく、コロナ禍もあって中止を余儀なくされていましたが、少人数の参加者であっても、集合型の演習では意見交換も盛んで有意義な研修となりました。これらの研修を通して各自のキャリアアップだけでなく、嶺南地域の職員間の交流が広がることを期待しています。

嶺南地域の拠点として、嶺南支所は地域の福祉職員の資質向上をめざして今後も積極的に取り組んでまいります。



研修会の様子

基本目標 2
地域と福祉を支える
担い手づくり

関連する SDGs ゴール



ふくい福祉就職フェア（福祉の職場説明・面談会）開催

福井県福祉人材センター・嶺南福祉人材バンク無料職業紹介所では、6月1日の就職活動解禁に伴い、福祉分野の仕事の魅力発信や、県内福祉施設等と求職者との身近な地域での就職マッチングの機会を創出することを目的に、嶺北と嶺南の2会場で「ふくい福祉就職フェア」を開催しました。

また、現役職員の方から仕事の魅力や就職活動へのアドバイスなど、実際に話を直接聞くことで、福祉の仕事に関する視野を広げ、より具体的な就職活動へつなげることを目的に「先輩職員との交流会」を開催しました。

本会センター・バンクでは、今後も就職フェア等の各種事業を通じて、福祉の仕事の理解促進を図るとともに、福祉・介護・保育サービスを担う人材の発掘・確保に取り組んでいきます。

福祉の職場説明・面談会

会場（開催日）	参加事業所数	参加者数
嶺北会場（6/5）	78 事業所	63 名
嶺南会場（6/11）	15 事業所	14 名

先輩職員との交流会

会場（開催日）	嶺北会場（6/5）		
	保育	障がい者	介護
参加人数	9 名	8 名	7 名

会場（開催日）	嶺南会場（6/11）
	保育・障がい者・介護
参加人数	13 名

基本目標 2

地域と福祉を支える
担い手づくり

関連する SDGs ゴール



就職フェア（面談会）



先輩職員との交流会

はじめの一步 ～ボランティア体験 2022

本会では、県民の皆様のボランティア活動への関心を高め、活動をはじめめるきっかけづくりとして、福祉施設等で体験できるボランティア活動に関する情報提供とコーディネートを行う『ボランティア体験 2022』を実施しています。

本体験事業は、小学生高学年以上の一般県民が対象であり、100を超えるプログラムの中から活動・日程を自由に選んでボランティアに参加することができます。



ランティアー

7月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、ボランティアの受け入れを一時休止している福祉施設もありますが、体験期間を例年よりも長く設定し（7月23日（土）～12月23日（金））、より多くの方のボランティア活動のはじめの一步となるよう、努めてまいります。

基本目標 1

社会的孤立を生まない
地域づくり

関連する SDGs ゴール



法人連携協「地域貢献セミナー」開催！

県内の社会福祉法人で組織する福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会（略称：法人連携協、事務局：県社協）では、6月28日（火）、今年度の総会を実施するとともに「地域貢献セミナー」をオンラインで開催しました。

セミナーでは、石川県で町内の全6法人が連携して地域の公益的な取り組みを行っている「穴水町内社会福祉法人連絡会」より、実施している買い物支援事業や配食サービス事業などの取り組みの事例発表がありました。

法人連携協の会員以外の社会福祉法人からも多くの参加があり、参加者は穴水町の取り組みの手法を熱心に聞いていました。

法人連携協では今後、穴水町の取り組みを参考に県内の市町域、県域の法人連携による公益的な取り組みを推進してまいります。

基本目標 3

制度の狭間を生まない
包括的支援体制づくり

関連する SDGs ゴール



穴水町内社会福祉法人による連携事業の一コマ

子ども未来支援事業、福井県まごころ基金助成先決定！

【子ども未来支援事業「子ども食堂等への助成」】

「子ども未来支援事業」は、松原ふれあい基金やチャリティーアート展での収益を活用し、地域における子どもの健やかな育ちや自立を支援するため、子どもの居場所づくりに取り組む団体や児童養護施設を退所する方に対して助成を行う事業です。

そのうち、子ども食堂等開設への助成として、平成 28 年度から昨年度までに、計 12 団体に助成を行ってまいりました。

今年度、新たに子ども食堂を立ち上げる 2 団体に対して、各 20 万円の助成を決定しました。

【令和 4 年度（第 32 回）福井県まごころ基金助成事業】

「福井県まごころ基金助成事業」は、県内篤志家からの寄付金を運用し、県内民間福祉団体等が実施する様々な社会福祉活動等に対して支援を行うことにより県内の地域福祉を推進する事業で、平成 3 年以来、のべ 975 団体に対して合計 1 億 7 千万円を超える助成を行ってまいりました。

今年度、9 団体に対して合計 144 万 8 千円の助成を決定しました。

本会では、基本理念である「誰もが身近な地域で その人らしく 安心して暮らせる 福祉社会の実現」に向け、民間福祉団体等の創意工夫ある活動や地域に密着したきめ細かな活動に、助成というかたちでお手伝いしています。

これらの事業を通じて、多様な団体が地域でそれぞれ得意とする活動を行うことにより、支え合いと活気のある地域社会を目指すシステムづくりに取り組みます。



子ども未来支援事業助成式



まごころ基金助成事業助成式

基本目標 1

社会的孤立を生まない
地域づくり

基本目標 2

地域と福祉を支える
担い手づくり

5 つのチャレンジ②

ひきこもり・8050 問題への
理解促進と支援の輪づくり

5 つのチャレンジ④

企業や社会福祉法人と連携してす
すめる障がい者の社会参加促進

関連する SDGs ゴール

